

---

**第 163 回松本歯科大学大学院セミナー**

**日 時:** 2008 年 1 月 22 日(火) 13 時 30 分~15 時 00 分

**場 所:** 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

**演 者:** **Gregory R. Mundy, M.D.**

(Director, Vanderbilt Center for Bone Biology / Professor of  
Medicine, Pharmacology, Orthopaedics, Cancer Biology  
Vanderbilt University)

**タイトル:** **The host microenvironment in bone metastasis**

Gregory R. Mundy 博士(オーストラリア、メルボルン大学卒)は、2006 年 7 月より Vanderbilt 大学 Vanderbilt Center for Bone Biology のディレクターとして活躍されております。Vanderbilt 大学に赴任する前、博士は Texas 大学サンアントニオ Health Science Center において骨代謝研究の一大拠点をつくり、世界の骨代謝研究をリードしてきました。また、多くの日本人研究者がサンアントニオ Health Science Center の Mundy 博士の教室で骨代謝研究を学ぶことができました。Mundy 博士が世界に先駆けて見出した発見や研究課題としては、(1)骨代謝を調節するサイトカインの役割の発見、(2)骨吸収と骨形成を結ぶカップリング機構の提唱、(3)アポトーシスによる骨代謝調節機構の発見、(4)骨の微細環境が癌の骨転移を誘導するという骨転移機構の提唱、などが挙げられます。Mundy 博士が提起したこれらの課題は、まさに現在の骨代謝研究の主流テーマとなっております。これらの研究業績に対して、1982 年 Fuller Albright Award (アメリカ骨代謝学会 ASBMR)、1986 年 NIH MERIT Award、1999 年 William F. Neuman Award (ASBMR)などを受賞しました。今回の大学院セミナーでは、Mundy 博士の主要な研究分野の一つである癌の骨転移に関して講演していただくことになっております。

担当:硬組織疾患制御再建学講座 高橋直之